

平成 1 7 年 度

決 算 書

学校法人 拓殖大学

【財務の概要】

資金収支計算と消費収支計算

学校法人会計は「財務三表」と称される「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」を基本に形成されています。これらのうち、資金収支計算書と消費収支計算書について説明します。

資金収支計算書は「Cash Flow(現金の流入)Statement(計算書)」の意で、支払資金の収入(資金収入)および支出(資金支出)の経緯・顛末を明らかにする計算書です。

消費収支計算書は「Statement(計算書) Of Revenue(収入) and Expense(支出)」の意で、財務状況を消費収入と消費支出で把握する計算書です。資金収支計算書は支払資金の収入および支出の経緯を明らかにすることを目的としていますが、消費収支計算書は収支のバランス(均衡、財政の安定・持続)を計ることを目的としています。元来、私立大学(学校法人)は「寄附」という概念で成り立っていることから損益の概念はなく、企業会計の損益計算書とは異なった会計制度となっています。

消費収支計算書の帰属収入(学校法人の「負債」とならない収入)から消費支出を控除した額が帰属収支差額となりますが、これをもって企業会計でいう「利益」とすることは軽々に判断出来ません。

平成17年度決算の概要

平成17年度「資金収支決算(資金収支計算書)」は法人全体で251億1,543万円となり、予算額246億2,997万円に対し4億8,546万円、1.97%の増額となりました。

「消費収支決算(消費収支計算書)」は法人全体の帰属収入が147億6,111万円となり、予算額146億2,350万円に対し1億3,761万円、0.94%の増額となりました。また、消費収入の部合計131億6,406万円から消費支出の部合計140億5,951万円を控除した当年度消費収支差額は8億9,544万円の支出超過となりました。他方、基本金組入額前の帰属収入から消費支出を控除した帰属収支差額は+7億160万円となり、更に減価償却額を控除した、補正後の帰属収支差額は18億2,123万円の収入増となりました。

各計算書および主な内訳は以下のとおりです。

1. 資金収支計算書

資金収支計算書

平成17年 4月 1日から

平成18年 3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	11,837,508,000	11,882,213,203	44,705,203
手数料収入	485,918,000	400,648,510	85,269,490
寄付金収入	137,880,000	116,632,000	21,248,000
補助金収入	1,430,452,000	1,499,298,759	68,846,759
国庫補助金収入	1,026,199,000	1,051,816,770	25,617,770
地方公共団体補助金収入	402,253,000	427,949,989	25,696,989
その他補助金収入	2,000,000	19,532,000	17,532,000
資産運用収入	64,725,000	77,079,526	12,354,526
資産売却収入	43,717,000	43,717,000	0
事業収入	192,916,000	166,843,496	26,072,504
雑収入	430,384,000	544,372,072	113,988,072
借入金収入	0	400,000	400,000
前受金収入	2,365,815,000	2,905,867,065	540,052,065
その他の収入	1,104,633,093	1,019,493,629	85,139,464
資金収入調整勘定	3,381,789,655	3,458,944,719	77,155,064
前年度繰越支払資金	9,917,812,371	9,917,812,371	0
収入の部合計	24,629,970,809	25,115,432,912	485,462,103
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	8,717,859,967	8,716,744,016	1,115,951
教育研究経費支出	3,356,893,000	3,020,144,511	336,748,489
管理経費支出	1,394,566,000	1,199,689,492	194,876,508
借入金等利息支出	15,327,000	15,326,101	899
借入金等返済支出	181,659,000	181,659,000	0
施設関係支出	674,134,090	674,133,112	978
設備関係支出	220,955,000	211,489,488	9,465,512
資産運用支出	1,181,867,000	1,126,676,681	55,190,319
その他の支出	348,678,579	348,172,217	506,362
資金支出調整勘定	211,765,720	408,287,000	196,521,280
予備費	212,048,943		212,048,943
次年度繰越支払資金	8,537,747,950	10,029,685,294	1,491,937,344
支出の部合計	24,629,970,809	25,115,432,912	485,462,103

資金収支決算の主な勘定科目の内訳

(1) 収入の部

学生生徒等納付金収入は、決算額11億8,221万円、予算に対し4,470万円の増額となった。第一高等学校(以下、「一高」という)を除き、拓殖大学(以下、「大学」という)、北海道短期大学(以下「北短」という)、日本語学校は増額となった。増額の主な内訳は、新入生に関連した入学金収入等で増額となったが、入学辞退者・退学者に関連した授業料収入は減額となった。手数料収入は、決算額4億64万円、予算に対し8,526万円の減額となった。大学および北短の入学検定料収入で減額となったが、一高は増額となった。寄付金収入は、決算額1億1,663万円、予算に対し2,124万円の減額となった。大学および北短の特別寄付金収入が予想を下回り減額となったが、一般寄付金収入は北短および一高で増額となった。補助金収入は、決算額14億9,929万円、予算に対し6,884万円の増額となった。大学および北短の経常費補助金および政府開発援助外国人留学生修学援助費補助金等で増額となり、一高は東京都経常費補助金および東京都私学財団授業料軽減助成金等で増額となった。資産運用収入は、決算額7,707万円、予算に対し1,235万円の増額となった。主に施設設備利用料収入で教室貸し出しによる増額である。資産売却収入は、決算額4,371万円、予算と同額となった。小平市の旧花小金井寮の借地返還による譲渡収入である。事業収入は、決算額1億6,684万円、予算に対し2,607万円の減額となった。大学の学生寮収入とマレーシア日本語教育の契約内容の変更によるその他雑収入への科目変更等による減額である。雑収入は、

決算額5億4,437万円、予算に対し1億1,398万円の増額となった。大学、北短、一高で補正予算以降に発生した選択定年および期中退職者の増加により退職金財団等交付金収入が増額となった。また、その他雑収入は、大学のマレーシア日本語教育の契約内容の変更による受託事業収入からの変更および榑紅陵企画への職員出向者給与の戻し入れ等による増額である。借入金等収入は、決算額40万円となり、一高で東京都私学財団から生徒への入学支度金が発生したことによる。前受金収入は、決算額29億586万円、予算に対し5億4,005万円の増額となった。主な要因は平成18年度新入生数が予算想定を超えたことによる。その他の収入は、設置校間の取引額を控除した決算額は10億1,949万円、予算に対し8,513万円の減額となった。大学が建設資金引当特定資産からの繰入収入で、文京キャンパス整備事業の解体工事等のずれ込みで減額となった。資金収入調整勘定は、決算額34億5,894万円、予算に対し7,715万円の増額となった。主に日本語学校を除く設置校で退職者が増えたため、退職金財団等交付金収入の未収入金計上で増額となった。前年度繰越支払資金は、平成16年度決算確定額99億1,781万円で予算どおりとなった。以上、収入の部の合計は、法人全体で251億1,543万円となり、予算額246億2,997万円に対し4億8,546万円の増額となった。

(2) 支出の部

人件費支出は、決算額87億1,674万円、予算に対し111万円の減額となった。大学および一高が退職金支出で、北短が職員人件費支出および退職金支出で予備費対応を行っております。教育研究経費支出は、決算額30億2,014万円、予算に対し3億3,674万円の減額となった。光熱水費支出が、大学および一高で減額となり、旅費交通費支出は、一高は増額となったが、大学は学会・海外出張・学生短期語学研修で減額となり北短も減額となった。奨学費支出は、大学が新潟中越地震被災学生奨学金・外国人留学生体育特別奨学金で増額となったが、新入生の特別奨学生で減額となった。北短は増額となり、一高、日本語学校は減額となった。印刷製本費支出は、一高は増額となったが、大学は紀要・公開講座・授業関係印刷物で減額となり、北短も減額となった。賃借料支出、会合費支出は一高を除き減額となり、資料雑誌費支出は大学および各設置校で減額となった。研究調査費支出は、大学の共同研究、学部および研究所研究費等で減額となった。手数料・報酬支出は、一高は、増額となったが、大学は紀要原稿料・査読料・外部講師謝礼等で減額となり、北短も減額となった。保守営繕費支出は、大学および各設置校で科目組替等により減額となり、委託費支出は、大学が図書館業務の一部委託、人材派遣委託等で増額となった。一高は常駐警備委託、設備運転等の業務委託の実施により増額となった。解体費支出は、大学が文京キャンパス整備事業の体育館等の解体工事のずれ込みにより減額となった。その他、消耗品費支出、用品費支出は科目組替等により増額となった。管理経費支出は、決算額11億9,968万円、予算に対し1億9,487万円の減額となった。旅費交通費支出は、大学が体育スカウト関係等で増額となり、北短、一高も増額となった。用品費支出は、大学が文京キャンパス学生食堂、箱根保養センター、八王子キャンパス学生寮の什器備品等で増額となった。通信運搬費支出は、大学が学外広報誌発送・学生募集通信費等の発送方法の変更で減額となった。北短、日本語学校も減額となった。印刷製本費支出は、大学、北短、日本語学校の各種出版物で減額となった。一高は生徒募集関係印刷物で増額となった。賃借料支出は、大学が旧花小金井寮の借地返還に伴う地代等で減額となった。広報費支出は、大学が学生募集広報・公開講座広報等で増額となった。会合費支出は、大学が渉外関係費等で減額となり、北短、一高も減額となった。手数料・報酬支出は、大学が年史編纂関係の各種手数料等で減額となった。保守営繕費支出は、大学が文京キャンパスおよび八王子キャンパスの各学生食堂の改修工事で増額となったが、文京キャンパス整備事業のずれ込みによる建築工事費等で減額となり、各設置校も減額となった。委託費支出は、文京キャンパス整備事業の設計監理委託の科目組替、埋蔵文化財試掘調査費用等、その他人材派遣委託等で減額となった。解体費支出は、大学が旧花小金井寮の解体工事費等で増額となった。借入金等利息支出および借入金返済支出は、大学および一高で概ね予算どおりとなった。尚、大学は平成17年度で完済となった。施設関係支出は、決算額6億7,413万円、予算に対し978円の減額となったが、大学は保守営繕費支出からの科目組替に伴い予備費の対応を行った。建物支出は、大学が文京キャンパスG館研究室、E館部室の改修、S館教室および箱根保養センターの空調設備の更新、D館大学院生(商研・経研)控室改修、八王子キャンパスA館・C館のトイレ改修、体育トレーニングルームの建築等である。構築物支出は、大学が八王子キャンパスラグビー場の人工芝工事および野球場の整備等である。建設仮勘定支出は、大学が文京キャンパス整備事業第1ステージの建築および解体工事に伴う契約並びに設計監理料である。設備関係支出は、決算額2億1,148万円、予算に対し946万円の減額となった。主に大学、北短が、その他の機器備品支出、図書支出で減額となった。資産運用支出は、決算額11億2,667万円、予算に対し5,519万円の減額となった。建設資金引当特定資産への繰入支出は、大学が減額となり、教育研究施設拡充資金引当特定資産への繰入支出は、寄付金収入の減収により大学、北短で減額となった。その他の支出は、設置校間の取引額を控除した決算額は3億4,817万円、予算に対し50万6,000円の減額となった。予備費は、法人全体で3億7,500万円を設定し、大学が人件費支出の退職金支出で6,000万5,000円、施設関係支出で9,077万4,000円を使用した。北短は人件費支出の職員人件費支出で201万2,000

0円、退職金支出で276万8,000円を使用した。一高は人件費支出の退職金支出で739万円を使用した。資金支出調整勘定は、決算額4億828万円、予算に対し1億9,652万円の増額となった。各設置校の期末未払金で増額となった。次年度繰越支払資金は決算額10億2,968万円、予算に対し14億9,193万円の増額となった。

以上、支出の部の合計は、収入の部の合計と同額となり、法人全体で251億1,543万円、予算額246億2,997万円に対し4億8,546万円の増額となった。

資金収支決算の設置校別内訳 設置校間取引額を除く

法人合計	251億1,543万円	第一高等学校	33億4,980万円
大 学	201億7,218万円	日 本 語 学 校	1億1,967万円
北海道短期大学	14億7,378万円		

2. 消費収支計算書

消費収支計算書

平成17年 4月 1日から
平成18年 3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	11,837,508,000	11,882,213,203	44,705,203
手数料	485,918,000	400,648,510	85,269,490
寄付金	137,880,000	146,980,692	9,100,692
補助金	1,430,452,000	1,499,298,759	68,846,759
国庫補助金	1,026,199,000	1,051,816,770	25,617,770
地方公共団体補助金	402,253,000	427,949,989	25,696,989
その他補助金	2,000,000	19,532,000	17,532,000
資産運用収入	64,725,000	77,079,526	12,354,526
資産売却差額	0	0	0
事業収入	192,916,000	166,801,367	26,114,633
雑収入	474,101,000	588,089,122	113,988,122
帰属収入合計	14,623,500,000	14,761,111,179	137,611,179
基本金組入額合計	1,947,348,000	1,597,045,645	350,302,355
消費収入の部合計	12,676,152,000	13,164,065,534	487,913,534
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	8,624,422,878	8,623,307,000	1,115,878
教育研究経費	4,312,564,000	3,973,944,336	338,619,664
管理経費	1,580,546,000	1,376,381,009	204,164,991
借入金等利息	15,327,000	15,326,101	899
資産処分差額	114,990,000	70,551,586	44,438,414
予備費	310,833,122		310,833,122
消費支出の部	14,958,683,000	14,059,510,032	899,172,968
当年度消費支出超過額	2,282,531,000	895,444,498	
前年度繰越消費支出超過額	8,142,900,562	8,142,900,562	
基本金取崩額	0	878,767,356	
翌年度繰越消費支出超過額	10,425,431,562	8,159,577,704	

資金収支計算書が、支払資金の収入および支出の経緯を明らかにする計算書であることに対し、消費収支計算書は、財務状況を消費収入と消費支出で把握する計算書であり、収支のバランス(均衡・財政の安定・持続)を計ることを目的としている。損益の概念はなく、損益計算書とは異なった会計制度となっている。平成17年度消費収支決算(消費収支計算書)は、前記1の資金収支決算(資金収支計算書)に加味あるいは消費収支独自の取引について会計処理が為されている。

消費収支決算固有の勘定科目の主な内訳

(1)消費収入の部

寄付金は、金銭による寄付金（資金収入）のほかに現物寄付金を受け入れている。決算額は3,034万円となり、予算額未設定のため増額となった。内訳は、大学が科学研究費補助金による購入備品、卒業生からの記念品、八王子キャンパストレーニングルーム設置機器等の受贈で2,136万円、北短は談話室の設置等の受贈で353万円、一高は楽器および視聴覚機器等の受贈で544万円となった。雑収入の借地権認定収入は、決算額4,371万円予算どおりとなった。大学の旧花小金井寮の借地返還による借地権の譲渡収入である。基本金組入額は、固定資産の取得、大学の文京キャンパス整備事業資金の計画組入、奨学基金の元入れ等で、決算額15億9,704万円、予算に対し3億5,030万円の減額となった。主な内訳は、大学が15億343万円、一高は9,361万円となった。

(2)消費支出の部

人件費は、決算額8億2,330万円、予算に対し111万円の減額となった。人件費のうち、退職金は資金収支計算書と異なる会計処理となり、消費支出の退職給与引当金繰入額として計上される。一高は、大学・短期大学が加盟する退職金団体と異なることから算定方法に若干の相違がある。尚、大学、北短は退職給与引当金繰入額で、一高は退職金で予備費の対応を行った。教育研究経費は決算額39億7,394万円、予算に対し3億3,861万円の減額となった。主に減価償却額、貯蔵品等が資金支出に加味されている。減価償却額の内訳は、大学が6億7,480万円、北短が9,986万円、一高が1億6,685万円、日本語学校が292万円である。管理経費は、決算額13億7,638万円、予算に対し2億416万円の減額となった。教育研究経費と同様に減価償却額が主なもので、大学が1億4,819万円、北短が1,028万円、一高が1,670万円である。資産処分差額は、決算額7,055万円、予算に対し4,443万円の減額となった。不動産処分差額は、大学が文京キャンパスS館教室の空調機取替更新、旧花小金井寮の取り壊し等による取得価額と帳簿価額の処分差額である。その他の資産処分差額は、マルチメディアLLシステム、工学部授業用機器等の廃棄等による取得価額と帳簿価額の処分差額である。

(3)当年度消費収支差額

消費収入の部合計131億6,406万円から消費支出の部合計140億5,951万円を差し引いた法人全体の当年度消費収支差額は、8億9,544万円の支出超過となった。

(4)基本金取崩額

学校法人会計基準の一部改正（文部科学省令）に基づき、教育研究用機器備品の過年度除却超過資産に係る繰延額を計上した。

(5)帰属収支差額

消費収支差額は、消費収支計算書の帰属収入（翌年度以降負債とならない収入）から基本金組入額を控除した、消費収入と消費支出との差額であるのに対し、帰属収支差額は、基本金組入前の帰属収入と消費支出の差額である。

3. 貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成18年 3月31日まで

(単位 円)

資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	52,838,106,573	52,648,343,411	189,763,162
有形固定資産	39,688,582,550	39,968,515,061	279,932,511
土地	16,161,838,485	16,161,838,485	0
建物	18,078,107,196	18,690,897,667	612,790,471
その他の有形固定資産	5,448,636,869	5,115,778,909	332,857,960
その他の固定資産	13,149,524,023	12,679,828,350	469,695,673
流動資産	10,702,275,834	10,434,886,872	267,388,962
現金預金	10,029,685,294	9,917,812,371	111,872,923
その他の流動資産	672,590,540	517,074,501	155,516,039
資産の部合計	63,540,382,407	63,083,230,283	457,152,124

負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	5,234,404,590	5,456,507,606	222,103,016
長期借入金	694,817,000	823,483,000	128,666,000
その他の固定負債	4,539,587,590	4,633,024,606	93,437,016
流動負債	3,886,510,127	3,908,856,134	22,346,007
短期借入金	129,066,000	181,659,000	52,593,000
その他の流動負債	3,757,444,127	3,727,197,134	30,246,993
負債の部合計	9,120,914,717	9,365,363,740	244,449,023
基本金の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	54,910,142,558	55,264,943,813	354,801,255
第2号基本金	5,564,391,658	4,500,000,000	1,064,391,658
第3号基本金	938,511,178	929,823,292	8,687,886
第4号基本金	1,166,000,000	1,166,000,000	0
基本金の部合計	62,579,045,394	61,860,767,105	718,278,289
消費収支差額の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	8,159,577,704	8,142,900,562	16,677,142
消費収支差額の部合計	8,159,577,704	8,142,900,562	16,677,142
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	63,540,382,407	63,083,230,283	457,152,124

4. 財産目録

平成18年3月31日現在

財 産 目 録

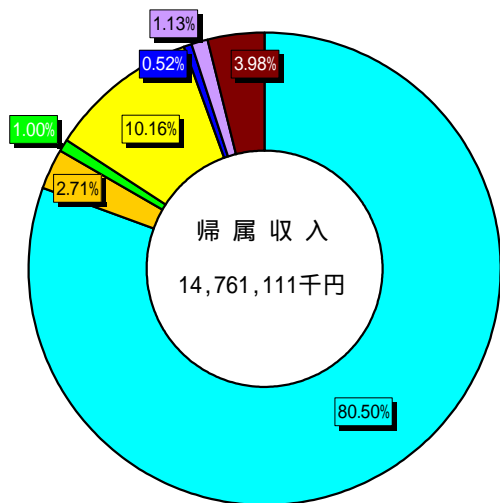
資産総額	63,540,382,407 円
内 基本財産	52,588,710,083 円
運用財産	10,951,672,324 円
収益事業用財産	0 円
負債総額	9,120,914,717 円
正味財産	54,419,467,690 円

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	1,405,149.69 m ² 15,963,455,632 円
建物	156,531.42 m ² 18,027,093,559 円
図書	645,958 冊 2,573,201,080 円
教具・工具・備品	67,416 点 1,119,165,962 円
その他	14,905,793,850 円
2 運用財産	
現金預金	10,029,685,294 円
その他	921,987,030 円
3 収益事業用財産	0 円
資 産 総 額	63,540,382,407 円
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	694,817,000 円
その他	4,539,587,590 円
2 流動負債	
短期借入金	129,066,000 円
その他	3,757,444,127 円
負 債 総 額	9,120,914,717 円
正味財産（資産総額 - 負債総額）	54,419,467,690 円

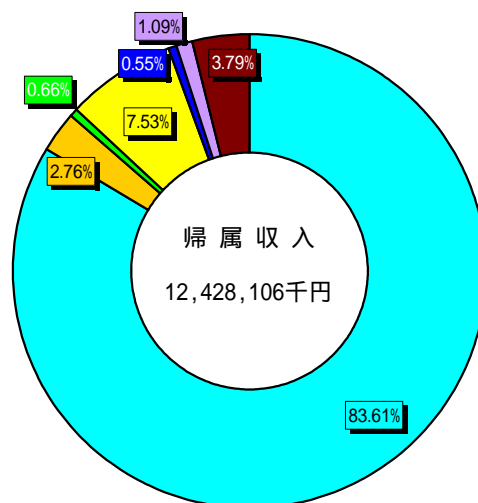
5. 財務比率

消費収支計算書の構成比率

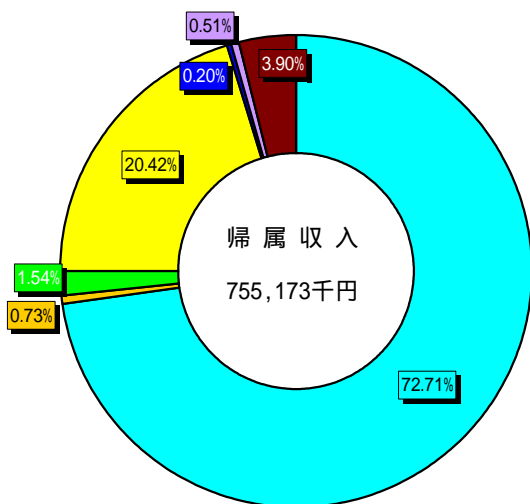
帰属収入構成比率(法人)



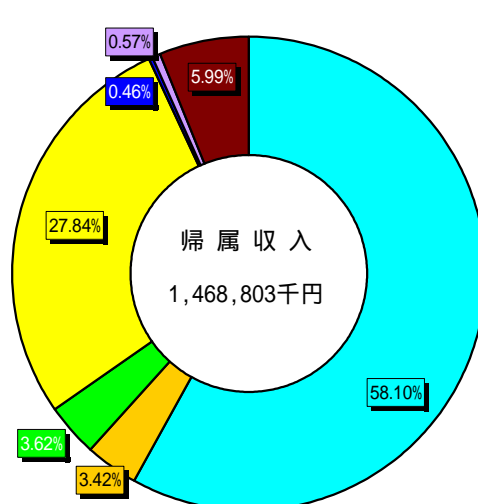
帰属収入構成比率(大学)



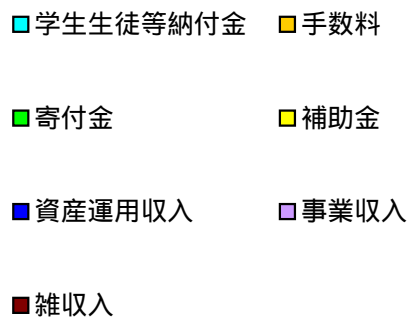
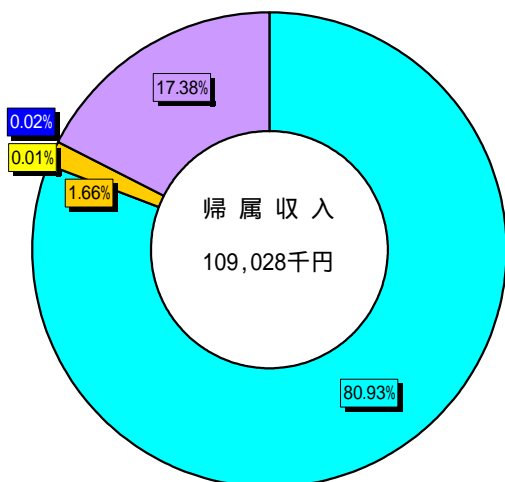
帰属収入構成比率(北短)



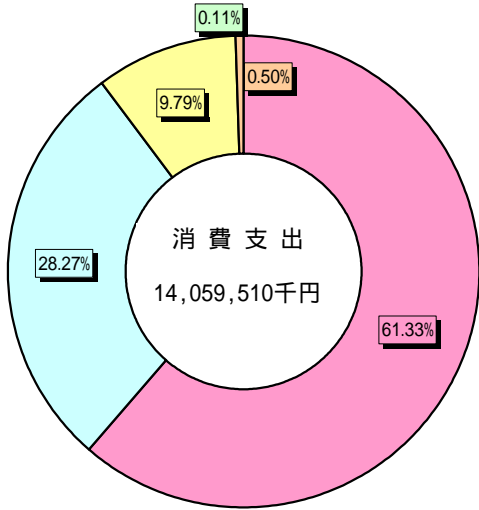
帰属収入構成比率(一高)



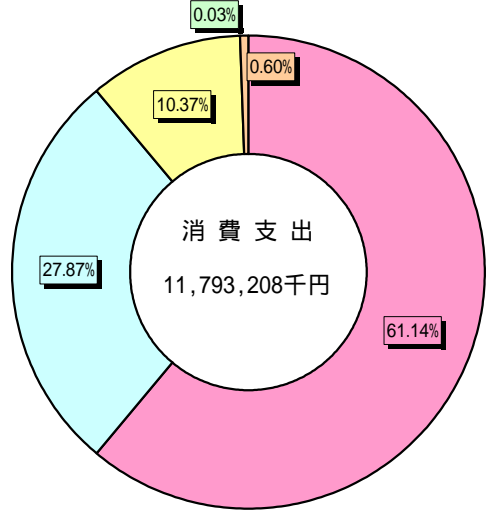
帰属収入構成比率(日語)



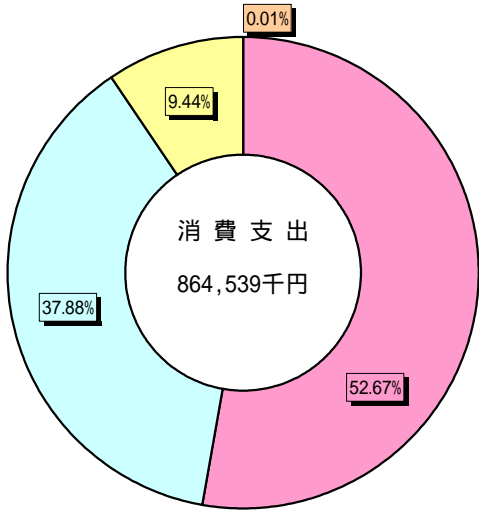
消費支出構成比率(法人)



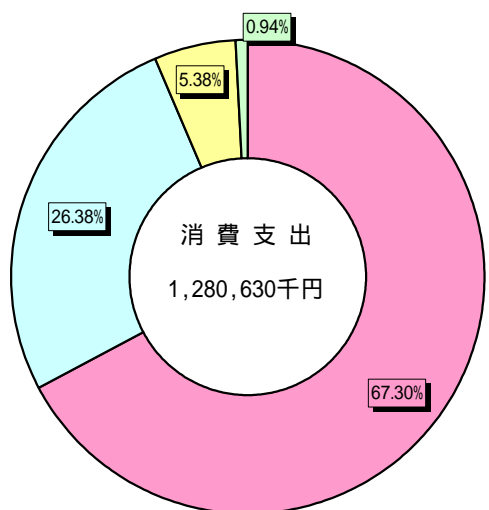
消費支出構成比率(大学)



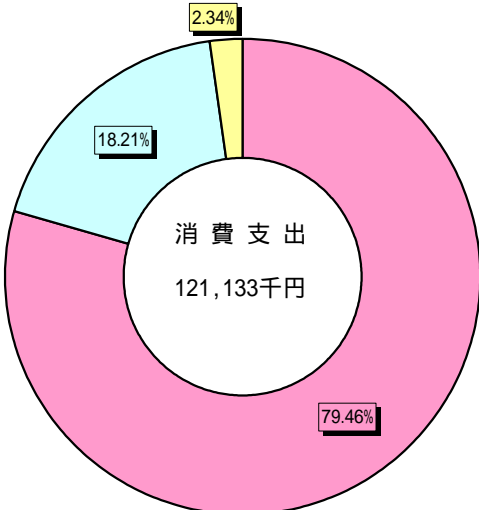
消費支出構成比率(北短)



消費支出構成比率(一高)



消費支出構成比率(日語)



- 人件費
- 教育研究経費
- 管理経費
- 借入金等利息
- 資産処分差額